

行政視察報告

○総務・建設

のボランティアとしていた。

次に、定住人口や交流人口の増加に向けた活性化対策に市民や商業者が一体となり、「安全で快適な居住環境の整備」「少子・高齢社会に対する居住環境の整備」などを旨とし、中心市街地における魅力をさらに高めるため子育て支援機能をはじめとする福祉サービスを備えた複合建築物（市営住宅）が建設されていた。

埼玉県草加市では、納税の機会拡大等、市民の利便性の向上を図ることを目的に、平成16年度から全国4万店舗のコンビニで24時間・365日納税（市県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税）が行われていた。

次に、木造住宅無料簡易耐震診断では、対象を1～2階建



ての木造住宅で延べ面積300㎡以下とし、確認済証（建築確認通知書）または、平面図があれば可能であり、コンピュータソフトを使い現地確認をせずに行い、診断結果は「安全」から「危険・耐震改修必要」まで4段階に診断していた。



での視察の成果を役立てます。

今後の議会運営や活動、および本誌の構成・内容の充実を図るため、両市での視察の成果を役立てます。

○教育民生・経済環境

教育民生・経済環境常任委員会は、10月16日に埼玉県行田市と、17日に栃木県宇都宮市を視察しました。

行田市では『未来を担うのは子どもたちである』という観点から独自の教育事業を展開しており、そのひとつである中学生を対象とした海外派遣事業の説明を受けました。

また児童、高齢者や障害者の虐待早期発見と迅速な安全確認を行うために必要なネットワーク形成と、多面的な虐待防止を可能とするため「行田市児童、高齢者及び障害者に対する虐待の防止に関する条例」を制定されていました。

宇都宮市においては、持続可能な循環型社会の形成に向け、ごみの減量化・資源化の推進と、効率的な処理体制を構築するため、ごみ処理基本計画と生活排水処理基本計画から構成される「一般廃棄物処理基本計画」を策定していました。人口の増加に伴い、ごみ排出量、焼却ごみ量も増加し、ごみ量は人口増加率を上回る漸増傾向のため、ごみ減量化の推進を図り『宇都宮りんごダイエット作戦～みんなでりんご1個分のごみ減量作戦～』を展開していました。

次に不法投棄防止の取組では、受付体制の整備と迅速に対応するため、24時間受付できる「通報用ファクシミリ」の設置と、監視体制強化のため、固定式監視カメラを設置したことで、投棄者特定、指導の実績をあげられていました。



○議会運営・

議会だより

平成19年1月16日(火)から17日(水)にかけて、議会運営委員会および議会だより編集委員会の合同行政視察を行いました。

1月16日は茨城常陸太

田市、同月17日は銚田市

に赴いて、優れた議会運

営および議会だよりの編

集などについて視察・調

査を行いました。

今後の議会運営や活動、

および本誌の構成・内容

の充実を図るため、両市

での視察の成果を役立て

ます。